



のびのこちゃん

あ お だ け



令和6年5月31日 6月号

たけまるくん

たけやましょうきょういっくDX 竹山小教育DX

ふくこうちょう はった やすし
副校長 八田 安史

「保護者と学校との新たな連絡ツール」として、今年度より全横浜市立学校で導入された『すくーる』の、保護者の皆様全員のご登録に感謝申し上げます。保護者の皆様や地域の皆様と連携が、時代に合わせた形でより緊密になり、よりよい教育活動につなげていけるようにしていきます。

文部科学省では、今後の教育政策に関する基本的な方針として、教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進も位置付けられています。先日の学校説明会で学校長がお伝えしたように、本校でもSDGsを意識したペーパーレス化やこれまでアナログであったものを整理してデジタル化していくなど、デジタル化を進めているところです。

1年生から1人1台のタブレット端末

をもち、学びに活用していく時代がこんなに早く訪れるとは、自分が担任をしていた数年前には想像もしていませんでした。加速度的に変化する時代の流れに大人が驚いている間に、子どもはすぐに順応して使いこなしてみせました。

国は子どもが日常的にタブレット端末を持ち帰ることを想定しています。横浜市でも国の方針に従い、昨年度まで試行を行ってきました。子どもが自分の学びを調整し、粘り強く取り組むことを自覚できる姿や、情報を主体的かつ適切に取り

り扱い、責任ある行動をとれるようにする姿を目指して、今後横浜全市で日常的に持ち帰るよう

にしていくという方向性が出されています。ルールの確認やフィルタリングの設定、情報モラルの指導等、準備すべきことが多いたですが、時代に合った子どもの学びを、保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら進めて参りたいと思います。よろしく

お願いいたします。

教育DXのイメージ

世の中の各分野でDX化が加速。教育においても将来的な第3段階までを見据えて、前向きな変化を進めていく。現在の取組は大半が第1段階であり、速やかに第2段階の実行と第3段階の構想を進めていく。

